

公民科 学習指導案

- 1 単元：第Ⅱ部 現代社会のしくみと私たちの生き方
 第4章 現代の国際社会と日本の役割
 第2節 国際政治の動向と平和の追求

2 単元について

高等学校学習指導要領「公民」の内容では、以下のところである。

(2) 現代社会と人間としての在り方生き方

オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割

グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。

また、内容の取扱いについては、「オの「人種・民族問題」については、文化や宗教の多様性についても触れ、それぞれの固有の文化などを尊重する寛容の態度を養うこと。」とある。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

国際政治の基本的なルールや構造について、また、国際連合の組織や役割について理解しながら、国際的な政治問題としての紛争、核軍縮、人権問題について資料を用いて考察し、国際社会の中で日本が果たすべき役割について考え、国際社会のあるべき姿について考察し表現できるようになる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
国際社会における政治的動向に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、国際社会における日本の果たすべき役割について考察しようとしている。	国際平和、国際協力や国際協調についての諸問題から課題を見出し、諸問題について幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	国際政治の諸問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。	国際社会の基本的なルール、諸問題、国際機関の役割について理解し、その知識を身に付けている。

4 指導計画（6時間）

時	内 容
1	1 国際社会における国家、2 戦後の国際情勢
2	3 現代における紛争
3	4 国連の成立と役割、5 国連の課題
4	6 核兵器と軍縮
5（本時）	7 世界的な人権保障の動き
6	8 国際協力と日本の課題

5 本時の展開 (50分)

学習内容	学習活動	指導上の留意点等
<p>導入 (10分)</p> <p>(1) 前時までの復習 (2) 本時の学習のねらいの確認</p>	<p>(1) 人権問題を扱う国連組織について、組織図等の情報を用いてペアで考察する。</p>	<p>(1) 国連のほぼすべての機関が人権擁護活動に関係しており、人権保障が国際社会の重要な課題であることに気付かせる。</p>
<p>学習のねらい「国際社会の中で人権はどのように守られているのだろうか。」</p>		
<p>展開 (30分)</p> <p>(1) 世界人権宣言、国際人権規約等について</p> <p>(2) 人権問題の例として、北朝鮮による日本人拉致問題について</p> <p>(3) その他の人権問題について</p>	<p>(1) 資料集で人権に関する国際法(条約等)の条文を確認する。</p> <p>(2) 日本人拉致問題の概略について理解する。</p> <p style="text-align: center;">拉致被害者家族のインタビューを読み、人権問題となっているのはどのような点かをペアで話し合う。</p> <p style="text-align: center;">日本人拉致は北朝鮮当局によるものであり、北朝鮮の一般国民が関与したものではないことを理解する。</p> <p>(3) その他の人権問題について、具体的にはどのようなものがあるか資料集の地図からペアで確認する。</p>	<p>(1) それぞれの宣言、条約、規約等の目指すところを気付かせる。</p> <p>(2) 拉致問題について説明する。(資料：拉致問題対策本部のHP) その際、①我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であること、②基本的人権の保障が国境を越えた人類共通の課題であることを理解させる。</p> <p style="text-align: center;">家族インタビューの配付(資料：鳥取県教育委員会「拉致問題に対する理解を深めるために」の家族インタビューのページ)</p> <p style="text-align: center;">日本人拉致は北朝鮮当局によるものであることを説明する。(資料：法務省「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」のQ&Aのページ)</p> <p>(3) 個別の人権問題については簡単に確認する程度にとどめる。</p>
<p>まとめ (10分)</p> <p>(1) 学習のねらいの確認 (2) 本時の学習内容の確認</p>	<p>(2) 学習のねらいである「国際社会の中で人権はどのように守られているのだろうか。」について自分の考えを論じながら人権保障の推進についてペアワークで、話しあう。</p>	<p>(2) 本時の学習内容をまとめ、次時の学習内容を予告する。</p>